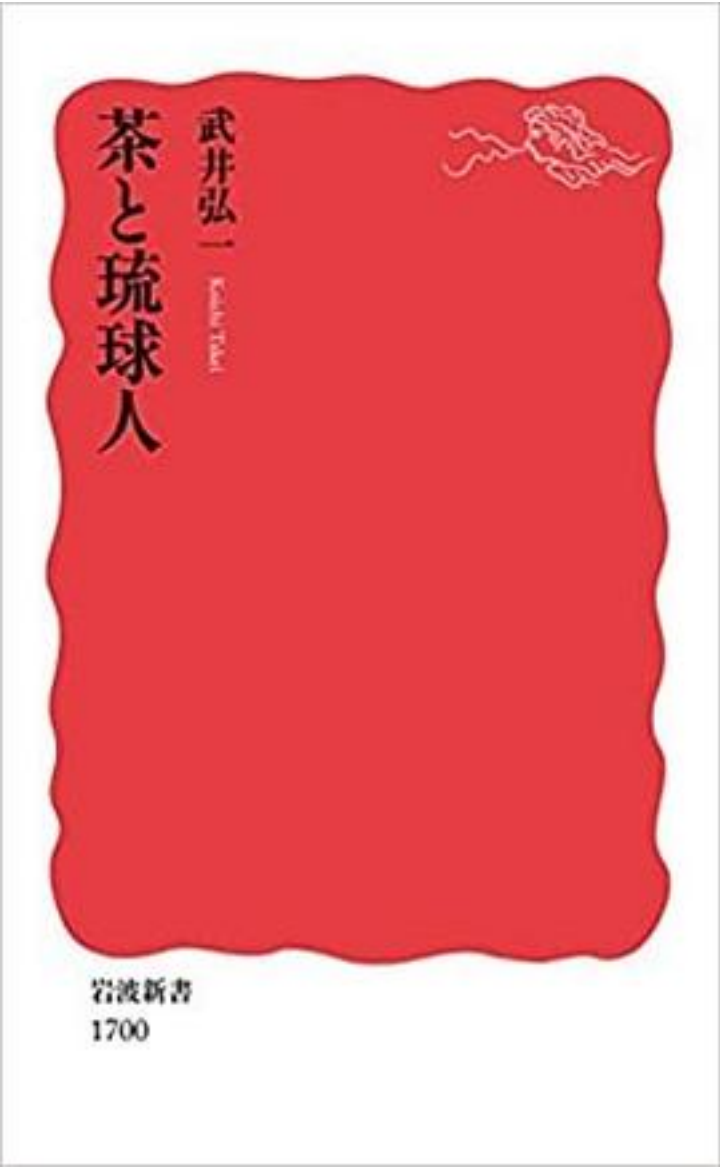


# 茶と琉球人



[茶と琉球人 下载链接1](#)

著者:武井弘一

出版者:岩波書店

出版时间:2018

装帧:

isbn:9784004317005

内容（「BOOK」データベースより）

近世琉球で、どのようなモノが、どこで生産され、誰が流通をにない、どのように消費されていたのか。大国の狭間で翻弄されつつも、日常的に茶をたしなみ、“ゆたかに”農業型社会を築いていた人びとの暮らしぶりは?庶民の姿と多様な地域性との焦点を当て、「薩摩の世」時代の沖縄の自立を問う。モノからみた琉球史!

著者略歴（「BOOK著者紹介情報」より）

作者介绍:

1971年、熊本県人吉市生まれ。琉球大学法文学部准教授。東京学芸大学大学院修士課程修了。専門は日本近世史、とくに江戸時代の村社会と自然環境の研究。2016年、『江戸日本の転換点』で第4回河合隼雄学芸賞受賞(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[茶と琉球人 下载链接1](#)

## 标签

日本

茶

琉球

## 评论

随便翻了翻，实在是没读出什么趣味。

-----  
整本的目的主要都是为了鼓吹琉球和作者老家人吉的关系紧密，论证有很多问题。篇幅

里很多都是根据一点点资料，像写散文一样的想象。用来说明琉球从清朝的茶叶进口不多的数据的年份，其实低于能统计到的历年平均进口量，只有能查到的最高年度的1/3

-----  
[茶と琉球人 下载链接1](#)

书评

-----  
[茶と琉球人 下载链接1](#)